

## 考え方

問題文の内容をまとめてみましょう。

### ●トノサマバッタがへってしまった

理由① 原っぱが少なくなったこと

理由② ほんとうの原っぱが少なくなったこと

### ●ほんとうの原っぱとは

・いろいろな種類の野草が、自然なすがたで生きている原っぱ

・トノサマバッタのすめる原っぱ

・自然のままの原っぱ

↓大しばふ広場や親水公園などはまったく別のもの

わたしたちは、げんざいでも残っている自然のままの原っぱを全力で守りぬぎ、同時に、新たにつくりあげてゆかなければならない。

な種類の野草が、自然なすがたで生きているわけではないからです。(15〜18行目)

ここから、筆者が「ほんとうの原っぱ」として残したいと考えているのは「いろいろな種類の野草が、自然なすがたで生きている」原っぱだとわかりますね。

### 問三

( X ) を、いくむ文の最後を見てみましょう。

( X )、そこには、……わけではないからです。

「〜から」という言葉から、( X )の直前の内容に対する理由が書かれていることがわかりますね。ですから、「なぜなら」があてはまります。「なぜなら……(だ)からです」という、理由を表す文の形を覚えておきましょう。次に、( Y )の前後の内容を見てみましょう。

そのようなスポーツをする人は多いでしょう

### ↔ (反対の内容)

そのようなスポーツができない人も、好きでない人もたくさんいるのです。

この二つは反対の内容なので、( Y )にはイ「しかし」があてはまります。

### 問一

筆者はこの文章で、トノサマバッタがへってしまったことについてのべています。まず、前書きに注目しましょう。前書きからは、「バッタの顔には二種類ある」「トノサマバッタは『仮面ライダータイプ』』ということがわかります。

これらをふまえて問題文を読み進めると、「ほんとうの原っぱが少ない」ことについて説明している部分で、「仮面ライダーのピンチ」(34行目)という表現が見つかります。

筆者は、ほんとうの原っぱが少なくなり、トノサマバッタがすめる場所がへってしまったじょうきょうを「ピンチ」と表現しているのです。

### 問二

かせんしきで目に入ってくるものとして「野球場、ゴルフ場、サッカー場」があげられています。これらを見て、筆者は——②のように思うのですね。野球場やサッカー場について、筆者は13〜14行目で次のように言っています。

野球場のグラウンドやサッカー場、大公園のしばふ広場などは、じつは、ほんとうの原っぱとはいえません。

では、どうしてこれらは「ほんとうの原っぱ」とは言えないのでしょうか。次の部分に着目しましょう。

ほとんど草が生えていなかったり、人工しбаがはりめぐらされていたり、しばばかりが生えていたりして、いろいろ

### 問四

③の直前の一文に「原っぱ遊び」の例が書かれています。確認しましょう。

- ・家族連れが休日にお弁当を広げたり
- ・お年寄りがのんびり散歩を楽しんだり
- ・小さな子供たちがシロツメクサの首かざりをつくったり
- ・お父さんがむすこにトノサマバッタのつかまえ方を伝えたり

問題文に書かれていないのはエですね。問二で見たように、筆者は野球場のことを「ほんとうの原っぱとはいえません」と書いていることからわかりますね。

### 問五

④の直後の段落の初めに「たとえば」とあることに注目しましょう。この段落で、——④の例についてくわしく説明していることがわかりますね。

## 困ってみよう

「エブリスタデイ」第4回の問題文の大事なところを困ってみよう。

### 39〜43行目

あちこちのJRの機関区や操車場などが、合理化や鉄道による貨物輸送の減少などのえいきょうではいしになり、かつて、たくさんの電気機関車やディーゼル機関車、貨車などが走り回っていた所が、大きな原っぱに変わったりします。

この内容を指定された字数以内でまとめましょう。

### ココが大切!

「たとえば」という言葉は、例をあげて説明するときに使われます。文章を読むときは、このような言葉を手がかりにすることが大切です。

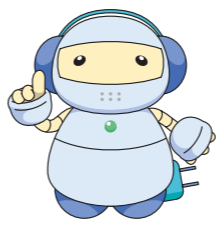
#### 問六

⑤の前後を見てみましょう。

大しばふ広場とか親水公園とか、名前や見かけは、それらに似たものはけっこうある

・しっかりと観察してみれば、やはりまったく別のものである  
たくさんある「大しばふ広場」や「親水公園」と、「にているけれどまったく別のもの」と筆者が言っているのは46～47行目の「トノサマバッタのすめる原っぱ」と「水辺の野鳥たちのオアシスであるしっ地」です。

答えは「原っぱ」「しっ地」だけでは足りないよ。「大しばふ広場」や「親水公園」も見かけは「原っぱ」や「しっ地」だから、どのような「原っぱ」や「しっ地」かまできちんといおきなさい。



#### 問七

最後の段落に、筆者の考えが書かれています。筆者は、残っている「自然のままの原っぱ」を守り、それと同時に、新たに「つくりあげてゆかなければならない」と思っているの、正解はエです。筆者は「ほんとうの原っぱ」を残したいと思っていますが、「大しばふ広場」はほんとうの原っぱではないので、アはまちがいです。同様に、「大しばふ広場」にはトノサマバッタはいないのでウもまちがいです。問五で見たように、わたしたちは「気がつかないうちに、原っぱを新たに作りだしている」のでイもまちがいです。

#### 答え

問一 仮面ライダーのピンチ

問二 いろいろな種類の野草が、自然なすがたで生きている(原っぱ)

問三 X||ウ Y||イ

問四 エ

問五 JRの機関区や操車場などがはしになり、電気機関車などが走り回っていた所が、大きな原っぱに変わる。(49字)

問六 ・トノサマバッタのすめる原っぱ

問七 ・水辺の野鳥たちのオアシスであるしっ地

問七 エ